

令和5年度都城市文化賞受賞者が決定しました！

今年度の都城市文化賞は、芸術部門に久保輝秋（くぼてるあき）氏、文化功労部門に東由子（ひがしよしこ）氏の2名の受賞が決定しました。

都城市文化賞は、本市の文化の向上発展に関し、特に顕著な業績・功労のあった個人・団体、または、国内・国外での活動が国内外で高い評価を得た個人・団体に対し、贈呈するものです。市文化賞条例に基づき、①学術部門・②芸術部門・③技術部門・④社会教育部門・⑤体育部門・⑥文化功労部門の6つの部門で選考。今年が18回目。これまでに、学術部門1人、芸術部門5人、社会教育部門1人、体育部門2人、文化功労部門9人と1団体の計18人と1団体が受賞しています。

なお、旧都城市においては、昭和44年の制定以降、学術部門5人、芸術部門13人、社会教育部門19人と1団体、体育部門8人と1団体、文化功労部門43人と5団体の計88人と7団体を選定しています。

●受賞者と功績

・芸術部門 久保 輝秋 氏（都城市出身・在住／67歳）】

郷土都城の大地の色と感触を原点とする作品により、全国的・世界的な美術展で数々の受賞を重ね、高い評価を受けている。また、多くの国際美術展に招待作家として出品しており、国際的な文化交流活動にも貢献している。これまでに全国各地で個展を開催しており、本市でも個展の開催や母校への作品寄贈を通して、市民に本格的な美術鑑賞の楽しさを提供している。現在も高校の非常勤講師を務めるなど、後進の育成も行っている。

・文化功労部門 東 由子 氏（都城市出身・在住／67歳）】

ウィーン留学を経て平成2年に帰国後、ソプラノ歌手として本市を拠点に幅広く演奏活動を開始。地元の短大や大学で非常勤講師を務めながら、ホームレッスンでは音楽を志す子弟の教育に努め、日本を代表する歌手・音楽家を育てている。これまでに、県内外の保育園・幼稚園から高等学校まで約80校で公演し、子どもたちに音楽の素晴らしさを伝え、また、後援会や地域の地域づくり・子育て支援団体と共に、手作りのクラシックコンサートを多数実施してきた。市役所ロビーコンサートへも開始当初から門下生と共に数多く出演するなど、地域の音楽文化の普及・向上に貢献している。

●贈呈式

- ・日時 令和5年11月30日（木）11時00分～
- ・場所 市役所本館4階 秘書広報課前会議室

※受賞者への取材は、式終了後に記者クラブ室で対応いたします。

【参考】

受賞者の略歴

久保 輝秋 氏（芸術部門）

（学歴）

- 昭和50年 県立都城工業高等学校工芸科卒業
- 昭和54年 九州産業大学芸術学部美術学科卒業
- 昭和56年 九州産業大学大学院芸術研究科修士課程修了

（主な受賞歴・国際展招待歴）

- 平成4年 安井賞展 入選
第1回青木繁記念大賞公募展 石橋美術館賞
第1回小磯良平大賞展 大賞
- 平成6年 昭和会展 日動火災賞
- 平成8年 韓国・TEGUアジア現代美術展 招待出品
- 平成17年 損保ジャパン美術財団選抜奨励展 秀作賞
- 平成18年 宮崎県文化賞（芸術部門）
- 平成19年 別府アジアビエンナーレ 別府市長賞
- 平成23年 中国・成都ビエンナーレ 招待出品
- 平成26年 福岡市文化賞
- 令和元年 国際公募アートオリンピック 4位入賞
- 令和2年 全国絵画公募展 I Z U B I 大賞

東 由子 氏（文化功労部門）

（学歴）

- 昭和50年 県立都城泉ヶ丘高等学校卒業
- 昭和55年 東京芸術大学音楽学部声楽科卒業
- 昭和61年 東京芸術大学大学院音楽研究科声楽専攻修士課程修了

（主な活動歴）

- 平成12年 子育て支援グループ「ジョイナス」と共に、世界の国々と宮崎県の子守歌を集めたCD「ちにれちにれ～世界の子守歌」を制作
- 令和3年 野口雨情が作詞した「都城小唄」のCD付冊子を自主制作、図書館に寄贈
- 令和元年～ 宮崎市教育委員会ふるさと文化学習支援事業に参加、小・中学校にて特別授業を実施
- 平成2年～ リサイタルやソロコンサートを多数開催、平成4年には、「九州交響楽団と第九を歌う」にソリストとして出演、その後も同公演に計6回出演している。このほか、各種コンサートや音楽祭等への出演も多数ある。

（教え子の進学先）

- 東京芸術大学、京都市立芸術大学、国立音楽大学、武蔵野音楽大学、東京学芸大学ほか多数

以上